




学校だより

太陽祭

「今年度の校名変更に伴い、大養祭改め太陽祭に名称が変更になりました。」

**10月21日(土)に『一人ひとりの力とえがお
みんな合わせて大きな太陽』のテーマで行われました。
テーマ曲「勇気100%」**


福島県立大笹生支援学校
NO. 3 H29. 11. 2

小学部

小学部の発表は、1～2年生が視聴覚室、3～6年生が体育館でステージ発表を行いました。始めのころの練習ではうまくいかなかったことも、練習を積み重ねるたびに演技が上手になってきました。太陽祭当日は、保護者や観客の皆さんの前で友達と力を合わせながら一生懸命に演技を披露することができました。



中学部

中学部ステージ発表のテーマは「和～春夏秋冬～」でした。学年毎に日本の四季をイメージして、琴や和太鼓等の和楽器の演奏や、「よさこい」の演舞でステージを盛り上げました。始めは、和太鼓をなかなか強く打てなかったり、始めて触る琴に緊張したりしましたが、それぞれの生徒が自分の目標をもちながら約1ヶ月半練習し、本番は堂々と迫力のある演技を行うことができました。



高等部

高等部では、先輩から踊り継がれてきた「よさこいソーラン」と、選択音楽の生徒による合奏や合唱のオープニング発表を行いました。また、スマイルマーケットでは、各作業班で作った製品の販売や実演を行うなど、日頃の学習の成果を発揮し太陽祭を盛り上げることができました。販売会場の飾り付けやポスター制作、接客や会計など、普段の学校生活では体験できない貴重な経験を積むことができました。



避難訓練

10月30日(月)に第2回避難訓練が実施されました。今回は、災害発生時の緊急事態において、学校全体が組織的な対応をし、児童生徒を安全かつ迅速に避難、誘導するための方法を習熟することができるように訓練を行いました。特に学級や隣接学級で協力しながら迅速に避難すること、組織対応を習熟することを目的に実施しました。

震度6弱の地震が発生し、その後にボイラー室より出火する想定で行いました。安全(押さない、走らない、喋らない、戻らない)な移動で避難が済み、全員の安否確認をしました。その後、全体会で係の教師から、弾道ミサイル発射時の行動の仕方についての話と身を守る練習をしました。全体会終了後の体験では、煙を充満させたテント内を避難する体験を行いました。想像以上に周囲の見えない状況での避難を体験することで、災害時の行動を真剣に考えることができました。

地域支援センター ささっこ

教育支援部の地域支援センターささっこでは、発達や教育に関する相談「ささっこ相談」を行っています。0才から就学前の幼児、小・中学生、高校生の児童生徒と保護者を対象とした個別の相談になります。

また、地域の学校や幼稚園・保育所の先生方や関係機関の方々との情報交換や情報提供を行い、お子さんに応じた教育的支援を一緒に検討しています。

「お子さんや保護者が安心して相談できる場を提供すること」を大切にしながら相談を行っています。



(学校だよりは本校ホームページでもご覧いただけます。)